

2026.1.19

五位池小学校の桜守管理活動

文責（藤原春善）

- 1、日時：2026年1月19日（月）14時00分～15時30分 <晴>
- 2、場所：神戸市長田区五位池小学校
- 3、活動員：NPO ソグッドナガタ（1名）
 - NPO 兵庫樹木医会樹木医（2名）
 - 長田区グリーングループ（1名）
 - 自然体験活動支援シニア種まき隊（1名）
 - 五位池小学校 {校長、教員2、栽培委員（5・6年生）10}
- 4、内容：生徒に桜について説明し、五位池小学校校舎改裝工事の影響を受けたソメイヨシノを観察し、保全対策として枯れ枝剪定及び割竹法等の指導を行った。
ソメイヨシノ（正門4本）について現状を説明し、桜の改善対策を行った。
 - (1) ソメイヨシノの健康（枝・幹・根）観察結果チェック
 - ・枝（冬芽）：冬芽の発達が不良な枝、枯れ枝、病虫害枝、重なり枝等がみられた。
 - ・幹（樹皮）：①のソメイヨシノにコスカシバの食痕・ヤニ、ヒロヘリアオイラガ繭が見られた。④のソメイヨシノにナラタケモドキが見られた。すべてのソメイヨシノにウメノキゴケ等地衣類が見られた。
 - ・根（根上り・山中式土壤硬度・開口空洞）：
山中式土壤硬度（①18.4mm,②22.6mm,③25.4mm,④24.0mm）で硬い22mm以上の地点が多く、根上り場所が見られた。
④ソメイヨシノに開口空洞が見られた。
 - (2) ソメイヨシノの健全対策
 - ・枝（冬芽）：冬芽の発達が不良な枝、枯れ枝、病虫害枝、重なり枝等のブランチカラーを残して剪定した。
なお、切口直径2cm以上は、トップジンペースト等殺菌剤を塗布した。
 - ・幹（樹皮）：コスカシバの食痕をつぶし殺菌処理した。
ヒロヘリアオイラガの繭を除去した。
ナラタケモドキの除去殺菌処理を行った。
ウメノキゴケ等地衣類の顕著な部分は除去した。
 - ・根（根上り・山中式土壤硬度・開口空洞）：

根上り場所及び割竹の挿入箇所は腐葉土を散り敷いた。

土壤硬度 22mm 以上の地点は地挿棒及びアースドリル（ハンドオーガー）で穴あけをし、割竹（①4, ②2, ③0,④1）本を挿入し、土壤改良を行った。

なお、④の開口空洞のあるソメイヨシノは、キガタメール等による充填を検討している。

（3）今後の課題

- ・校舎改修工事で損傷した④ソメイヨシノの根・主幹の修復について検討する。
- ・山中式硬度計の硬度が 22mm 以上であるところは、更に割竹挿入を推進する。
- ・校舎の裏側の 2 本のソメイヨシノについても健康診断チェックを行う。
- ・生徒が桜の管理活動をしやすいように観察手帳の作成を検討する。
- ・桜の植栽地と歩道区分し、杭打ちをする。できれば歩道に砂利を敷く。



① ソメイヨシノ



①アースドリルによる穴あけ



① 割竹挿入



①割竹周辺に腐葉土を入れる



② 根上がりしたソメイヨシノ ④ソメイヨシノに着生したナラタケモドキ





③ 片面をコンクリートで固められたソメイヨシノ ③割竹挿入



④ ソメイヨシノ開口空洞、キノコ観察 ④高枝鋏で枯れ枝剪定



④ 割竹挿入

④胴吹き剪定